

適用拡大登録

区 分	除 草 剤
農 薬 名	バッチリフロアブル
登 録 番 号	第 22149 号
登 録 日	平成 22 年 8 月 4 日
< 有効成分 >	
イマゾスルフロン	1.7 %
ピラクロニル	3.7 %
プロメトナ	16.3 %

登録内容

作物名に「直播水稻」を追加する。

適用雑草コウキヤガラに「東北」を追加する。

使用方法に「水口施用」を追加し、既登録の使用方法和あわせて「原液湛水散布又は水口施用」とする。

【注意事項の変更及び追加】

- ・本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの 2.5 葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ミズガヤツリは 2 葉期まで、ヘラオモダカは 2 葉期まで（但し、九州は発生始期まで）、ウリカワは 2 葉期まで（但し北海道、東北は発生始期まで）、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈 3 cm まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さないなので、有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- ・直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生ずる恐れがあるので注意すること。
- ・水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深 3 ～ 5 cm）に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ (北海道、東北、九州) ミズガヤツリ (北海道を除く) ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ (北海道を除く) コウキヤガラ (東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離 (北陸、九州を除く)	移植時	砂壤土～ 埴土	500ml /10a	1回	田植同時散布機で施用	全域の普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ ノビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで				原液湛水散布又は 水口施用	
直播水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ (北海道を除く) ウリカワ ヒルムシロ セリ	イネ 1 葉期～ ノビエ 2.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	砂壤土～ 埴土			原液湛水散布	全域

イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内